

青森新都市病院 地域医療連携だより

KADERU (かでの)

KADERU

INFORMATION FROM YUSHINKAI
AOMORISHINTOSHI HOSPITAL

2019年9月号

Vol.

6



Contents

- 「乳腺外来開設から1年目のご挨拶」
乳腺外科・甲状腺外科部長 西 隆
- 施設のご紹介 <工藤内科クリニック>
- 市民公開講座
- 青森新都市病院トピックス



医療法人雄心会 青森新都市病院 ホームページ <http://aomorishintoshi-hp.yushinkai.jp/>
〒038-0003 青森市石江3丁目1番地 代表電話 017(757)8750 / FAX 017(788)9901
患者支援センター 直通電話 017(757)8785 / FAX 017(788)9902

乳腺外来開設から1年目のご挨拶（乳癌と喫煙の関係について）

昨年春から乳腺・甲状腺外来を開設して、1年半が過ぎようとしています。皆様のご協力を得て、外来患者数・手術件数とも順調に増加中です。昨年6月からの1年間で72件（乳腺45件、甲状腺27件）の手術を行うことができました。これも関係者各位の皆様のご協力あってのことと、深く感謝申し上げます。



乳がんの患者数・死亡者数ともに増加中であることは皆さんもご存じのことと思います。生活習慣中で乳がん発症リスクが増加する可能性が『ほぼ確実』とされているのは「閉経後の肥満」のみですが、「アルコール飲料の摂取」は閉経前で『可能性あり』、閉経後では『ほぼ確実』とされました。また、喫煙に関しては『ほぼ確実』、受動喫煙では『可能性あり』となっています。県別の平均寿命で青森県が最下位であることが話題になり、テレビでも「短命県返上！青森県！」というフレーズがCMで流されました。平均寿命最下位の原因のひとつとして考えられているのが喫煙率の高さです。2016年の日本人喫煙率は19.8%（男性31.1%、女性9.5%）でしたが、青森県の喫煙率は23.8%（男性36.5%、女性12.2%）でした。男女とも全国平均に比して明らかに高く、男性では全国一位（総合と女性のみでは二位）の喫煙率を誇っています。昨年4月2日から本年7月10日まで

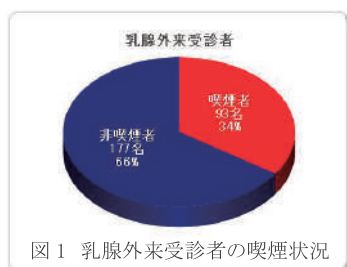


図1 乳腺外来受診者の喫煙状況

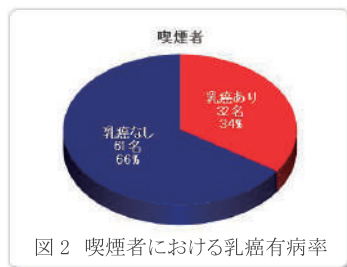


図2 喫煙者における乳癌有病率

に乳腺外来を初診された270名を対象に喫煙状況を確認したところ、喫煙率は34.4%でした。（図1）また、喫煙者での乳癌有病率は34%でした。（図2）乳がんでなくなる人を減らすためにも、検診率の上昇とともに喫煙率の低下に向けて啓蒙活動を広めていく必要があります。

検診率上昇に少しでも貢献すべく、当院では今年のピンクリボン運動に参加させていただくことにしました。2019年10月20日（日）に「日曜乳がん検診」を実施する方向で準備を進めています。平日の受診が困難で検診を受けたことがない方は、ぜひこの機会に乳がん検診を受けてみてください。

青森新都市病院 乳腺外科・甲状腺外科部長（乳腺医療センター長） 西 隆

ピンクリボン 日曜検診「マンモサンデー」

10月の第3日曜日は乳がん検診に行こう！

毎日忙しい日々を送っているあなた、乳がん検診をこの機会に受けてみませんか？

※ 詳しくは電話でお問い合わせ、ホームページ（お知らせ欄）及び院内チラシにてご確認ください。

日 時：令和元年10月20日（日） 9時00分～15時00分（事前予約制）

予約窓口：マンモサンデー担当者 TEL 017(757)8750 平日9時00分～17時00分
注) 予約受付時カンタンな問診を3分程度お時間頂きます。

【世界的に乳がん啓発強化月間である「10月の日曜日」を「ジャパン・マンモグラフィーサンデー」として、子育て・介護・仕事・家事などで平日に病院に行けない女性たちが、休日の日曜日に「乳がん検診」を受けられるよう、全国の医療機関と認定NPO法人J.POSHが協力して行っている取り組みです。】

施設のご紹介 — 工藤内科クリニック —

私の専門分野である生活習慣病、甲状腺疾患などの内分泌疾患などについての経験を生かすために、平成11年に開院して現在に至っています。

私のほかに、生活習慣病、内分泌疾患（特に甲状腺疾患）に豊富な経験を持つ看護師、管理栄養士が患者様への治療に適切なアドバイスをさせていただきます。

よりよい治療をするために、院長の私、看護師、管理栄養士がチームを組み、診療を行っています。当院は外来のみですが症状が進んだ糖尿病の患者さんでも9割程度インスリンの導入・指導は入院が不要なく外来で行えます。



10月移転オープン予定



令和元年10月より近くの三内霊園に向かう道路に面した新しいクリニックに移転します。今後ともよろしくご指導お願いいたします。

工藤内科クリニック 院長 工藤幹彦

現住所 / 〒038-0003 青森市大字石江字江渡 52-176
電話 017(766)9107 / FAX 017(781)3905

市民公開講座



7月24日、当院講堂において市民公開講座が開催されました。今回の市民公開講座は3部構成で形成外科分野の3名の教授にご講演いただきました。

第1部は北海道大学大学院 医学研究科・医学部 機能再生医学講座 形成外科学分野 主任教授 山本有平氏に「形成外科が治す病気やケガとは？」というテーマで症例や最新の手術など詳しく紹介していただきました。

第2部は福島県立医科大学 形成外科学講座 主任教授 小山明彦氏に「生まれつきの顔や頭の変形とその治療」というテーマで、子どもの先天性の顔や頭の形態異常についての手術の方法を説明、子どもの時に形態異常の手術をし、大人になってから整容を整える治療についてもお話していただきました。

第3部は神戸大学大学院 医学研究科 形成外科学 主任教授 寺師浩人氏に「皮膚癌って何？」というテーマで、皮膚癌とはなにか、腫瘍（できもの）の良性と悪性の違いについて、また、どんな腫瘍ができれば病院へ受診をしたらよいのかなど詳しく説明していただきました。

今回は大勢の方に参加いただき、講演後にご回答いただいたアンケートには参加して良かった、また聞きたいなどの声が多数寄せられました。ご参加くださった皆様、ありがとうございました。

次回の医療・健康セミナーは、整形外科医 末綱太 副院長による

「加齢と老化」

～老化を遅らせるには何が必要か？
運動と食事の重要性について～

9月18日（水）16:00～17:00

に開催いたします。多数のご参加お待ちしております。



青森新都市病院 トピックス

ホスピタル・コンサート

7月18日、ハープ奏者 奥田恭子氏、フルート奏者 工藤千尋氏によるホスピタル・コンサートを当院で開催し、地域の皆様や入院患者さんなど多数の方に参加していただきました。

ハープについてわかりやすく紹介する中で、ハープの淵を叩いて音を出す激しい和の曲も披露され、ハープにもこんな演奏の仕方があるのだと驚きました。そして、ハープとフルートの合同演奏はとても素晴らしいハーモニーでした。懐かしい童謡や民謡のほか、ジブリの曲、映画音楽などが次々と演奏され、参加した皆さんは終始、体でリズムを取ったり、楽しそうに微笑んで演奏を聴いておりました。

ご参加くださった皆様ありがとうございました。



特別講演会

7月25日、岩手医科大学 内科学講座 循環器内科分野の主任教授である森野禎浩氏に「Structure Heart Disease(構造心臓病) Intervention」がもたらす循環器医療の急速な変化」というテーマでご講演頂きました。



これまでの構造心臓病の治療は外科手術(開心術)が中心でしたが、最近では「切らずに治すカテーテル治療」が主流となりつつあり、岩手医大では様々なカテーテル治療に取り組み、国内有数の実績を積んできていること。身体への負担が少なくなり術後3~4日で帰宅されていることなどがわかりやすく説明されました。参加者は100名を超え、とても勉強になった講演会となりました。



うまい森青いもりフェア



東奥日報主催「うまい森 青いもりフェア」が7月28・29日にアスパムで開催され、当院も健康チェックブースを設け参加しました。

今回はねぶたの時期も近いということもあり、大勢の方に健康チェックをしていただきました。

検査が終わったあとは結果表を手に看護師が説明を行いました。日常生活における健康相談等多くの質問を受け、市民の健康に対する関心の高さが伺えました。次回の11月23・24日「うまい森青いもりフェア」にも健康チェックブースを設け参加いたしますので是非ご参加ください。



健康教室

7月31日(水)、リハビリテーション科主催の第2回健康教室が開催されました。

今回のテーマは「腰痛」で、腰痛の予防体操を参加者の皆さんと一緒にしながら、腰痛のメカニズムなどについて学びました。

ストレスと腰痛は密接な関係にあり、ストレスにより脳機能が低下することで、腰痛を引き起こしやすくなったり、慢性化させることがあるそうです。今回もご参加くださった皆様、ありがとうございました。

次回は
9月25日(水)に
『「記憶」の教室』
(認知症予防)
を開催いたします。



編集後記

朝晩めっきり涼しくなり、近所の少ない「ススキ」が風に揺れています。もう直ぐ十五夜です。秋は、読書の秋・スポーツの秋・食欲の秋などと言われてはいますが、皆さんはどの秋を堪能されますか？私はこの時期、果物が多く出回るため食欲の秋に誘われ、ついつい食べ過ぎてしまうので体重管理が緩みがちです。(N・F)

地域連携だより「KADERU」
編集顧問 片山容一・末綱太